

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Multivariate risk score for recurrence of cutaneous basal cell carcinomas	
	論文の日本語タイトル	基底細胞癌における再発リスクの多変量解析	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ18-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID	6847215	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Archives of Dermatology	
	雑誌 ID		
	巻	119	
	号	5	
	ページ	373-377	
	ISSN ナンバー	pISSN: 0003-987X eISSN: 1538-3652	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1983	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Dubin N	New York University School of Medecine
	その他著者 1	Kopf AW	
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
その他著者 7			

一次研究の 8項目	目的	基底細胞癌の再発に関わる危険因子を同定する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	米国の1大学病院	
	対象者	基底細胞癌 1417例	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)	治療法別に搔破+電気乾固 (C & E)、放射線 (X線)、外科的切除の3群に分け、それぞれ年齢、性別、前治療、腫瘍径、囊腫状変化、部位を説明変数とし、再発を目的変数とした多重ロジスティックモデルを構築。	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	再発	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	治療後5年時点での症例全体の再発率は18.3%。外科的切除は9.3%、放射線は9.7%、C & Eは26.0%であった。多重ロジスティックモデルの結果で有意であった因子は、外科的切除では腫瘍径と部位 (頭部、耳介、眼瞼、鼻、その他顔)、放射線では腫瘍径と部位 (鼻)、性別 (男)、C & Eでは腫瘍径、部位 (前額、耳介、眼瞼、鼻、その他顔)、前治療、年齢であった。	
結論	治療法に関わらず、腫瘍径と発生部位はいずれの治療群においても有意な再発危険因子であった。		
備考			
レビューワー コメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV) ニューヨーク大学における基底細胞癌の一連の報告の1つ。対象期間が1955~1969年と古いためにC & Eの症例が多くなっているが、外科的切除の再発データは現在でも十分適用可能である。	